

田園調布九条しんぶん

発行
田園調布九条の会
連絡先 (3759-5521)

駒木根智行

HP は「田園調布九条の会」で検索し
田園調布九条の会 Wix.com へ

2025 憲法記念日のつどい 大好評だった大江さん講演

「戦争の永久の放棄の素晴らしさ 強く感じた」
「憲法を基礎から学べた」

今年の「憲法記念日のつどい」は5月6日午後、嶺町集会室で、大江京子弁護士を講師に開催し、雨の中参加された78人の方が熱心に学習しました。大江先生の講演は、用意したレジュメはA4版フルカラーで42頁でしたが、とても見やすくて分かりやすく、お話も良く理解できたと大好評でした。質問は14問が寄せられ時間的に全部にお答えするのは無理でした。終了直後から「1時間半があつという間だった」「また続きが聞きたい」という声が事務局に寄せられました。先生への質問に加え、アンケートや会の活動へのカンパもかつてなく集まりました。

今年のつどいは、憲法とは何かをそもそもから学ぶ事に集中したいと講演一本に絞って行いました。「今、改めて日本国憲法をよく知る機会が必要な状況だと思う」「憲法に関心を持ってもらいたい。とりわけ若い人との間にその機会をつくるために先ず私たちが準備しよう」という気持ちからで、大江先生もその意図を受け止めて準備してくださいました。これからの憲法を守り生かす運動、学習機会や戦争資料展の取組みなどにも積極的に活用していきたいと思います。

アンケートの一部をご紹介します。

(2面へつづく)



非常に勉強になった！！

憲法を基礎から学ぶことができた。

憲法と法律について、多少解った気がする。
平和憲法を守ることはこれからの世界にとって非常に大切な事である。

憲法についてボンヤリとしかわかっていなかったことが今日の講義であきらかになりました。テレビのニュースや新聞を読んでも今日の講演のような危機感は感じられなかった。自民党のやってきたこと、国民をだまして戦争に向かう方向だとわかりました。地球上の人類が戦争しないで平和に暮らせるよう今後も考えていきたい。

今置かれている厳しい現実を把握できたが、勉強不足を痛感しました。

日頃、余り深く考えていなかった憲法について、再びこの会で考えなおしました。私が一番考えていることは絶対に戦争にしない事だけです。86歳ですが、先の戦争で父を亡くした遺族です。

普段、憲法の事について考えることは無い生活ですが、世界いたるところで内戦、戦争、内政が不安定な国が多く、世界平和にはほど遠いことを考えると、ゆっくり憲法について考えることも必要だと感じました。

SNSの書き込みのような身近なところで、憲法の条文を使っていこうと思っています。

非常に詳しく、丁寧な説明で理解できました。とても詳細なレジュメ有り難うございます。憲法と米軍(安保)とのからみにも話がもう少しほしかった。(時間的に無理?)

- 1) 憲法を深読みする事が大切ですね。
- 2) そのエッセンスをこどもたちに分かりやすく、分からなくても粘り強くお話しする努力
- 3) 憲法の理解→政治(民主主義)、経済(平和主義)、学術(自由主義)、芸術・スポーツ(同)・教育の原理(科学、技術、歴史学、宗教学、憲法学)を丁寧に。憲法をゆっくり読み、意見を言い、人を誘い、共通の認識を高める努力=9条の会などで

大きな文字の資料と、分かりやすい説明ありがとうございました。

いつも老人ばかり。
若い人の参加は如何に促せるだろうか?大学で英語を教えています、資料のコピーを配布しても良いでしょうか?
若い人への情報提供が重要と考えます故。

- ・憲法と法律の違いがよく解りました。
- ・国民が賢くならないようにしているのが今の政府だと思う。
- ・日本国憲法が世界の平和を目指していることの素晴らしさを深く知りました。
- ・国連憲章では世界の戦争を止められない。日本国憲法の戦争の永久の放棄の素晴らしさを強く感じた。
- ・軍拡より暮らしに税金を使う政府にしないで平和と人権を守れないと思います。

とても分かりやすく、私にも十分理解できて良かったです。私にできることは少ないですが、行動していきたいと思っています。

会場をもう少し駅の近くにしてほしい。

主権者教育をほとんど受けていないなかで育ってきた若者たちに、どうやって憲法が自分たちの自由を保障しているかを広めていくのがポイントだと思う。戦争になったら自分たちの自由をうばわれるということを実感させて、憲法に守られている生活を維持するということを伝える。

安保3文書改定の正体(目的)が恐ろしい。

生憎の雨でしたがとても良い会でした。
ここまで運ばれたことに心より感謝しております。

今回の講演を含め、田園調布九条の会は頑張っていると思う。



有明に38000人 5月晴れの憲法大集会



「未来は変えられる!戦争ではなく平和な暮らし!2025 憲法大集会」と銘打った今年の憲法集会は、大雨も上がり綺麗に晴れあがった有明の緑地に38000人の参加者が集まりました。「これまでの改憲の危機を跳ね返してこられたのは、私たちの市民の運動があったからです。台湾有事を口実に戦争できる体制づくりが進んで

いますが、憲法を守って、憲法に基づく平和な未来を切り開いていきましょう。」(菱山南帆子さんの開会挨拶)で始った集会は、憲法を無視して強引に進められる戦争準備にストップをかけるために、参院選挙で好戦勢力を引き続き少数に押し止どめようの意気にあふれていました。当会からは10人が参加し、楽しく交流しました。

(3面へつづく)

主な発言を紹介します。

*植野妙実子さん＝中央大学名誉教授

「日本国憲法には永久平和主義が掲げられています。全ての国が仲良くさまざまな人々の共生は平和であってこそ。永久平和主義、基本的人権の尊重、国民主権を定めるこの憲法の素晴らしさを伝える平和の国として、日本を発展させよう」

*田中熙巳さん＝日本被団協代表委員

「地球上には1万2千発もの核兵器があり、4千発はすぐにでも発射できます。80年間核戦争を起こさなかった私たちの努力を引き継いで、日本に世界に広めて、戦争も核兵器も無い人間社会をつくりあげましょう。」

*古賀茂明さん＝政治経済評論家

「アメリカはトランプを大統領に選ぶような国だと多くの日本人は気付き始めています。憲法の精神は世界中の市民のつながりで平和を

守ること。そこに立ち返り、日米関係を見直し、中国との対話が必要です。憲法の理想を掲げ、政治を変えよう」

*政党代表は、立憲民主党＝辻本清美代表代行、日本共産党＝田村智子委員長、れいわ新選組＝櫛渕万里共同代表、社民党＝大椿ゆうこ副党首、沖縄の風＝伊波洋一幹事長

から挨拶がありました。



2025年5月4日 しんぶん赤旗より



学術会議解体法案は許さない！

廃案求める“人間の鎖”行動に参加して

28日参議院で審議入りした同法案は、6月5日にも内閣委員会採決強行かと言われています。衆議院では坂井担当大臣が「特定のイデオロギーや党派的主張をした会員は新法案では解任できる」と発言しました。国会を取り巻く怒りの鎖には、この発言を全く問題にせず可決・通過させた各党の議員に怒りが集中しています。私も、学問の自由即ち民主的な社会の基礎を根底から破壊する自民党などの企図を知りながら、戦争勢力に手を貸す与党と一部の野党への怒りを押さえる事ができません。

イスラエルのネタニヤフ政権のジェノサイドを支持し、武器産業を支援する日本政府。ガザ攻撃中止を求める人々を反ユダヤ主義者と決めつけ、また米国内の大学の自治や学問の自由を一切認めないトランプ政権に無批判に追随する日本政府。こうした支配勢力の権力欲剥き出しの暴挙にストップかけるのは、「戦争反対！平和と民主主義の立憲政治を守れ」の国民的な反対運動の盛り上がり以外はないと痛感します。

(駒木根 智行)

第21回九条の会の「ざっくばらんカフェ」開店します

日 時 : 2025年7月10日(木) 午後3時～5時
会 場 : 田園調布倶楽部(多摩川駅近く)
会 費 : 1,700円
タイトル : 「後見制度について」
ゲ ス ト : 大井 真知子さん(司法書士)
申 込 み : 7月7日(月)午前中までに
申 込 先 : 鳥居<電話:03-3721-6484 FAX:03-3721-6486>

当 面 の 日 程	6月3日(火)	14:00～16:00	運営会議 19日国会前行動	嶺町集会室 (17時 多摩川駅集合)
	6月19日(木)	18:30～		



私もひとことシリーズ 第 11 話



皆様の想い、ご意見をお寄せください。趣味、仕事、健康、喜び、悩みなど何でも OK です。

素人料理は楽し

世の男性陣のほとんどは母親の味が恋しいと言われていますが、私もその例にもれずの一人です。特に煮物では、母親以外のものだと、それが激しくなるようです。せっかく作ってもらったにも拘わらず、どうしても一言いいたくなくなってしまうので、一念発起して自分でやってみようと料理を始めました。TV や Yahoo で簡単そうな煮物や美味しそうな料理のレシピを探し、作り始めました。

買い物に出かけ、お店の人に料理や保存の方法を聞いたりしてレポートも我流ですが少しづつ増えるようになりました。左利きなので、それ用の包丁を買ったり包丁を研ぐようになりました。作ったものを家族が美味しいと言って食べているのを見るのは、なんとも晴れがましく、嬉しい気持ちにもなります。

最近は一週間の昼夜の大まかな献立を予定表に記載しておくものの、買い物で見つけた、美味

しそうな素材や安い素材を使った献立に変更することが、楽しくもなってきました。そして買い物金額の暗算をその場ですることもあります。

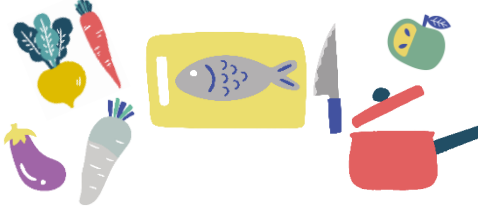
買い物に出かけ、会話をし、いろいろなことを聞き、献立を考え、暗算をすることは身体と心と頭の健康にも役立っているようです。

こんな中で、今とみに感じるのは、本当に何かかもが値上がりしていることです。ほんの 1 ~2 年前と比べても驚くばかりの上がりようです。国民生活を守る、経済安保だと仰々しいことをいっているながら、その実は

食料自給率を増やすことを放棄して何かあれば食料を輸入すればよいと言っているノ一気な状態には我慢の限界です。

楽しくおいしい食事を期待できる状況をみんなで作りましょう。

(大根 雅夫)



4 人家族の日記

この町がちょっと好き

ままりんです。
ままりんのお母さん (88 歳) の生い立ちを少々…。母の父は 10 人兄弟の長男で、貧乏だったが独学で歯医者になり、南京では有名な腕利きで大富豪だった。金持ちの患者ばかりを相手にしていたとか。貿易の仕事もこなし、ものすごいお屋敷に住んでいて、6 人の子供は乳母が育て、門番、食事係、料理人、掃除婦など沢山の使用人が居たそう。子供の洋服も注文して作らせ、オヤツをもらいに近所の子供が集まってきたそう。
しかし戦争が終わり引き揚げて来る際には財産はほぼ無くし、家族は父親の実家の大分県に少し身を寄せ、後に渋谷に移る。しばらくして、三軒茶屋の都営住宅に入居。ここに、叔母 (ままりんの母の妹) は今も住んでいる。(わー、叔母はここに 70

年以上、住んでるんだー)
引き上げてきた時はままりんの母 10 歳、叔母 3 歳。ままりん母の父親は、母親に暴力を振るったりお婆さんを連れ込んだりする人で、ままりん母が高校生の時には離婚。母親が 6 人の子供を引き取るが、まもなく、看護婦として大宮の病院に住み込みで行ってしまい、子供だけ残された。ままりん母は父親に気に入られていたので高校学費、専門学校学費を出してもらったらしい。しかし叔母は 1 番年下で、中学校にもろくに行かずに子守や飲食店などで働き、何とかお腹を満たすべく苦労したとか。ままりん母の兄は自衛隊に行き仕送りをしたり。
ままりん母は、なにせお嬢様に育ちすぎて、妹や弟の面倒をみるということでもなかったっぽい。叔母が未就学児のころには学校に連れて行ったという話も聞いたが。ままりん母が夜間高校に通い屋間は美容師の見習いをやった頃か、専門学校のころかに、妹は姉に、家にお金を入

れるように言ったが、給料らしきものはさほど無かったと。…そんなふうだったので、な〜んか妹の方は、自分が食うや食わずだった時に姉が助けてくれなかったことは、恨みに思っている気がするよ。ままりんにはそうは言わないけどね。その後、叔母は中学卒業後、ソニーの工場に就職、ままりん母のもう一人の妹は中学卒業後、学校給食の仕事に就いた。ままりん母は専門学校の後に就職した。

…と、ままりん母の人生の一部を少し話してみたけど。

先日、5 月 8 日のままりん誕生日の日に実家に行き、母の日のカーネーションを渡した。「今日は何日だった？」って話になり、「5 月 8 日だね」って話になったのに、ままりんの誕生日だって、その日は最後まで気付いてもらえなかったよ、人生初、地味に、悲しいよな〜。(続)

